

特集 小児訪問看護に取り組もう！

2010 年診療報酬改定で新設された「乳幼児等への訪問看護の評価」。行なってきた小児訪問看護実践の必要性が認識された結果であり、今後ますますの取り組みが期待されています。これまでの実践で得た手応え、やりがい、困難、今後の課題を特集することで、小児訪問看護がいっそう理解され、取り組みが広がることをめざします。

成長発達をうながしながら行なう小児訪問看護

——地域のすべての訪問看護に通じる力をつける 梶原厚子

訪問看護が入れば自宅に帰れる子どもたち

——小児への訪問看護を広げていきませんか？ 下地節子

訪問看護でいかす小児科での臨床経験 望月洋子

ネットワーク型の在宅診療とレスパイトケア施設うりずんの実践 高橋昭彦

■特別記事

介護の豊かさを原点として——介護センターひよりの実践 渡邊一敏ほか

■研究報告

A 県下における小児訪問看護の実践と課題 田中真由子ほか

■新連載

ケースメソッドで訪問看護ステーションの経営を考える 川村佐和子ほか

■連載

マグネットステーションインタビュー 佐野けさ美／訪問看護時時刻々 石田昌宏／在宅ケア もっととやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／すっきり&安心アロマ 百々雅子・福島光子／せんねん村村長 老いを地域で活かす 中澤明子／ほんとの出会い 岡田真紀／読むことと旅すること 服部祥子／お母さんといっしょ 横谷順子

編集後記

●特集・上之園論文の表1で、さまざまな教育課程を修了した15万6000人(常勤換算)もの介護職が訪問介護に携わっていることを知りました。訪問看護師よりはるかに多い人数の介護職が在宅ケアの現場を支えている。医行為をめぐる待ったなしの状況に、看護師だけではできないことも、多くの介護職の力をもってすればのり越えることができるはずと国は考えたのですね。被介護者・家族も含めて、そこには相互の信頼感がないとなりません、納得のいく養成教育や今後のあり方へのステップが準備されてこそその連携・協働の実現と思いました。……伊藤

●洞爺湖の縄文遺跡で、重度の小児麻痺だが20歳すぎまで生きたと推定される遺骨が発掘されている。四肢他に強い筋萎縮の跡があり、長年介護を受けていたと推測されている。唯でさえ厳しい環境の北海道で、医療も制度もなかった時代に、「この子を生かそう」とする働きが、意志的にか当たり前にか、そのムラでは機能したのだ。縄文人の心境やいかに？ 彼の地を訪れた時、その骨を納めた資料館は積雪で休館。気温は零下、天気は曇天。でも一瞬、雪雲の途切れて青空がのぞき、洞爺の湖面を輝かせた。『逝かない身体』は、その瞬間を思い出させてくれる。……杉本

訪問看護と介護 第15巻 第7号(通巻169号) 2010年7月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2010, Printed in Japan

1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめ予約購読料13,200円(年間12冊, 税込, 送料弊社負担)

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円(税込, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5659/社内案内:03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:杉本・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp/

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】<(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, E-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/10/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いします。